

夏の思い出・30秒スピーチ

～2学期のスタートに～

大阪 荒井 賢一

約40日間の長い夏休みです。

いつもなら教室で共に過ごす仲間が、約40日間にどんな経験をしてきたか、そこを2学期の初めに分かち合わせたいものです。

1学期の初め、子どもたちに、30秒自己紹介をさせました。

「私の名前は、〇〇〇〇です。誕生日は12月15日で、血液型はB型です。好きな食べ物はハンバーグで、嫌いな食べ物はゴーヤチャンプルです。好きな遊びは、氷鬼です。この1年間よろしくお願いします。」 (21:97→22:62→25:50)

最後に秒数が書いています。30秒±5秒以内でないと不合格になり、再チャレンジすることになります。上記の子は、3回目で合格となったわけです。

「25秒50、合格。」

と宣言すると、思わず子どもたちから拍手が起き、実に盛り上がったのです。

2学期明けは、夏の思い出・30秒スピーチをしたらどうでしょうか。

【夏の思い出・30秒スピーチのやり方】

- ① 教室の時計をはずして見えなくする。
 - ② 自分から立ってスピーチをしていく。
 - ③ 最後は「以上です。」を言う。
 - ④ ストップウォッチでタイムを測る。
 - ⑤ 30秒±5秒なら合格。
 - ⑥ 合格しなかった子は合格するまで、スピーチをくり返す。
- 様々な夏の体験が語られることでしょう。

30秒自己紹介も、夏の思い出スピーチも、前日に宿題として練習するように言っています。真面目な子は、紙に言うことをメモし、時計を見ながら練習してきています。ただ、本番になると、早口になってしまい、不合格になったりします。一方、練習せずに、適当にしゃべって合格する子もいます。

どちらが、その子の力となっていくかを子どもたちに問いかけてもいいでしょう。結果にいたるまでの過程を大切にすることが、生から死へ向かう人生のあり方というものです。